

■タウンミーティング概要(令和8年1月17日開催)

質問要旨	具体的内容	市長の発言
外国人政策について	外国人の受け入れを松戸市がどれくらい戦略的に行っていく予定なのか。また、日本語学校に日本語教育以外で期待している点などはあるか。	松戸市としては戦略的に外国人の受け入れを行っていくという考えはありません。松戸市は(外国人の受け入れについては)ニュートラルな立場をとってこうと考えています。また、日本語学校を通じて外国人に文化やマナーについてレクチャーしてもらうなどのアプローチを考えています。
犬・猫の保護活動について	保護された犬・猫を1度引き受けて、新しい家族につなぐことが出来たら補助金が出るなど、松戸市が保護活動を応援してくれる制度を作してほしい。また、高齢の方や単身世帯の方が安心してペットを最期まで飼えるような仕組みを作ってもらえないか。	動物の保護・譲渡のボランティア活動をされている方のおかげで殺処分数が大幅に減少していることはとてもありがたく感じています。生涯安心して飼えるようにするために、いろいろ考えていきたいと思っています。
新型コロナワクチンについて	①松戸市において接種後の短期間の死亡と予防接種健康被害救済制度の申請事例と副反応報告をどこまで把握しているか。 ②市民に分かりやすい形で予防接種のリスクやリターンについて周知していただきたい。	①私たちが把握している数字は後日しっかりと報告させていただきます。(関係課より回答)松戸市において「接種後短期間の死亡」については、把握していません。その理由として、接種日と死亡日のデータはありますが、死因に関するデータはなく、期間の長短を問わず接種による死亡を集計すること自体が不可能であるためです。 ・「予防接種健康被害救済制度の申請事例が副反応疑い報告としてどこまで把握反映されているのか」については、予防接種健康被害制度と副反応報告制度では、制度の目的や報告経路が異なります。 予防接種健康被害制度は、接種した本人及び家族が住民票のある市町村の窓口申請し、都道府県を経由し、国へ進達されることとなっています。 予防接種法に基づく副反応疑い報告制度は、医師等が、厚生労働大臣が定める症状を呈していることを知ったときに、症状と予防接種との因果関係が必ずしも明らかでない場合であっても厚生労働省へ報告しなければならないという制度です。 それぞれの制度の報告経路の違いから、市町村は予防接種健康被害救済制度に基づく請求を受け付けた時に、当該請求者に関する副反応疑い報告がなされているかどうかについて、当該健康被害を診断した医師等に対し、厚生労働省へ副反応疑い報告の提出するよう促すこととなっています。 松戸市もこれに則り、予防接種健康被害救済制度の請求を受けた時には、医師等へ副反応疑い報告の有無について確認し、未対応の場合には報告を促しています。 ②できる限り情報公開をさせていただこうと思います。
ワクチン被害について	新型コロナワクチンの被害実態を調査し、新型コロナワクチン接種を中止してほしい。また、新型インフルエンザ等行動計画の見直しをしてもらいたい。	松戸市に住んでいる方の命を守るため、どのように対応していくべきか近隣の自治体とも連携し、検討していきます。
水道インフラについて	八潮市の道路陥没事故を受けて、松戸市ではどういった対応を行っているのか。水道管の老朽化などどのような処置を行うのか、市長のインフラについてのコンセプトをお聞かせください。	他市では水道事業の民営化や外資の参入などの話も聞きますが、松戸市では行政がしっかりやっつけていかなければいけない事業だと認識しております。そのために本市においては、次年度以降赤字が見込まれることから昨年12月議会において水道料金の値上げの条例を通過させていただき、水道管の入れ替えなどと合わせて、持続可能な水道事業を進めていきたいと思っています。また、市内の水道には千葉県が管轄している地域もあるので、しっかり連携して対応していこうと思います。
街づくりについて	まちづくりの政策を進めていく際、活動の中心は市役所職員だとは思いますが、市民として参加できたりしないか。	現状は外部委員の方に意見を求めたり、パブリックコメントを実施することで市民の方に参加していただいています。もしそれ以外にもこういう風にやったら、もっと多様な意見も聞けるのではというアイデアがあれば教えていただけるとありがたいです。
ゴミ分別について	東京都内と比べて松戸市はごみの分別が煩雑なので簡素化してほしい。また、ごみをただ単に燃やすのではなくごみ発電を行い、資源の有効活用をしてほしい。	ご指摘の通り、松戸市のごみの分別は簡素化しなければいけないと考えています。そのためにもごみの焼却施設を新設する予算を取っており、新設に合わせてごみの分別の簡素化も検討していきたいと考えています。また、売電を行い、そこからある程度収益を得て、建設コストに充てるということも考えています。
常磐線の乗り換え料金について	現在、JR松戸駅から乗車して西日暮里駅で乗り換えを行い、山手線を利用すると、初乗り運賃が加算されてしまうため運賃が高くなってしまふ。「綾瀬駅～北千住駅」区間で適用されている特例運賃の計算を西日暮里駅まで延長し、山手線の乗り換え運賃が同一になるようJRに要望を出してほしい。	運賃体系については、目的地が同じでも、常磐線や東京メトロなど利用するルートによって料金が異なってしまう現状は把握しています。運賃設定は鉄道事業者が決めるのが原則ですが、沿線自治体や鉄道事業者などと協議しながら利便性の向上に努めていければと考えております。
予防医療について	病院を使わずに健康管理をしている人に対して何かインセンティブを与えるような制度を作してほしい。	病気にならないように健康管理を行うという予防医療という分野は非常に大事だと思っています。実際に松戸市医師会や医療従事者の方も色々考えてくださっており、私たちもそういう事業には率先して支援をしております。インセンティブに関しては健康推進課で「まつど健康マイレージ」という事業を行っておりますのでぜひご活用ください。
AIを用いた予防医療について	AIを活用した予防医療やオーダーメイド医療を導入してほしい。また、医療都市である松戸市の魅力をもっと市外に周知して欲しい。	新しい医療技術の導入は一部で慎重な意見もありますが、住民の健康増進と行政コストの抑制のため、可能な範囲で活用を進めたいと思います。また松戸市の魅力の情報発信が弱い点に関してはご指摘の通り。来年度以降は魅力発信のためプロモーション事業をもっと強化していこうと思っています。
介護サービス相談員について	介護サービス相談員という仕事を周知するためにも、長年従事している人に表彰などを行ってほしい	表彰に関して確認して検討させていただきます。介護サービス相談員に限らず福祉サービスの担い手不足は深刻な問題だと受け止めております。そういった中で長年にわたり従事して下さっている方に対して謝意を表するというのは大事なことです。早く対応していきたいと考えています。